

国連ハビタット第24回 Governing Council

4月15日～19日、ナイロビで国連ハビタットGoverning Councilが開催され、日本ハビタット協会からマリ・クリスティーヌ副会長と山本専務理事が参加しました。この会議は国連ハビタットの最高方針を決める重要な会議です。世界各国から政府代表、NGOスタッフなどが多数参加し、居住問題の改善、女性や若者の人権などについての話し合いがもたらされました。



理事会・総会の開催

2013年5月21日、都市計画会館で理事会と総会を開催しました。2012年度の活動・財務報告および2013年度の活動計画・予算を議決しました。総会の後には、会員の皆様との懇親会を開き、桑の葉茶と桑の葉クッキーを楽しみながら懇談しました。マリ・クリスティーヌ国連ハビタット親善大使と国連ハビタットの生みの親とも言える久山純弘理事の話がとても興味深く、今までの国連ハビタットと日本ハビタット協会の歩みを振り返る機会となりました。

ご寄付をいただきありがとうございます

2013年1月1日～2013年6月

(敬称略・順不同)

ご寄付 国際ソロブチミスト 日田・沖縄・浮羽・北九州・熊本一さくら・佐賀一東部・壱岐・島原、(有)岩田時計店、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、熊本空港ビルディング(株)、(株)新橋スタンプ商会、益見孝述、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、JR九州高速船(株)、中井禮子、中村勇、鈴木有、満園麗子、堀寛紀保子、北出明、北浦和志、豊島百合子、白須光美、田中正昭、長島定則、長澤俊彦、中武喜久代、大貫ひろこ、村野啓子、村山勝次、ライフメイト(株)、赤枝六本木診療所、アクセンチュア(株)、新井てつお、タカーズ・カンパニー、錫切順子、トヨタ部品宮城共販(株)、山口実知子、三浦浩子、笹木爵、左々和子、今井博、(株)しげ吉、原田義信、熊谷和俊、久保庭啓一郎、吉見一起、菊池ヨネ子、貴田暁照、岩隈久志などか、加藤弘子、よこやま外科乳腺クリニック、永田多恵子、名古屋競馬(株)、ハート薬局、井上博美、安藤芳子、ワタナベ薬局筑後店、スカイコートホテル(株)、もち吉春日公園店、福岡アジアマンス委員会、(株)スリムピューティハウス、柿沼光子、森多賀子、中村智之、関口芳央、川上五郎、赤塚由紀子、岡本和久、神田医院、(株)吉野商店、東京共済病院、レストランイーポ、五木田、(株)BTコンサルティング、久山純弘、松田美幸、伊木常昭

切手・書き損じハガキ 菊池ヨネ子、鎌瀧たみ子、宮本知枝、成田国際空港(株)、住友商事(株)、(株)大塚商会、全日本空輸(株)

ご協力いただいた団体 ニューサンマー、(株)新橋スタンプ商会、ソフトバンクモバイル、ハビタット福岡市民の会、地球環境基金、ちよだボランティアセンター、中野区、(株)ジェーシービー、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター、(有)マレイアソシエイツ、メリルリンチ日本証券、東京農業大学、シャンドウミュリエ、(社)日本フィナンソロピー協会、山の根自治会、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・ユース・中野・ハワイ・三島



外貨コイン 仕分け ボランティア

お問合せ先

Email : info@habitat.or.jp
Tel : 03-3512-0355



会費納入をお願い致します

日本ハビタット協会は設立以来、皆様のご支援により、様々な活動を展開することが出来ました。
皆様からのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。
引き続き、新たな活動を展開するためにも皆様に会費の納入をお願い致します。

郵便振替：00150-2-17590 日本ハビタット協会
個人会員 1口 3,000円 法人会員 1口 30,000円 (何口からでも結構です)

発行：認定NPO法人 日本ハビタット協会（発行責任 伊木常昭／編集責任 山本博子）

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12 ふくおか会館1階 TEL : 03-3512-0355 / FAX : 03-3512-0358

E-mail : info@habitat.or.jp / URL : <http://www.habitat.or.jp>

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8階 TEL : 092-724-7121 / E-mail : fukuoka@habitat.or.jp



HABITAT まちづくり通信 No.23



復興の桑応援ボランティア開催

桑の苗木
7,000本を植えました

私達は仙台市若林区の津波の被害が特に大きかった畑に桑の木を植え、地域の復興と再活性化を目指す「復興の桑プロジェクト」を実施しています。

桑は塩害を受けた畑でも育ち、その葉にはミネラル等が豊富に含まれ、糖分の吸収を抑制する特有の成分があり、健康食品としても注目されています。被災地の人々が主体となり桑を育て商品化・販売していく、雇用創出による経済の活性化だけでなく、生きがいづくりやコミュニティ活性化といった地域再生につなげていきます。現在、仙台市若林区の農家を中心とした方々の手により新鮮な桑の葉を特殊な製法で粉末化した商品「シャンドウミュリエ」が生まれました。この秋には、本格的に販売されます。

この事業の拡大のため5月30日～6月2日、桑の苗木を植えるボランティアツアーを開催しました。最年少は2歳の総勢33人が参加し、慣れない農作業に最初はとまどいながらも被災地の方々とのふれあいを楽しみながら桑の苗木一つひとつに復興への願いをこめました。女川町で開催された『我歴STOCK』も訪問し、女川港大漁獅子舞まむしの方々とのふれあいを通じて、被災当時から現在までの女川の歩みを振り返る機会となりました。

参加者の感想

明るく力強いみなさんの姿を見て、このプロジェクトの大きな可能性を感じ、それに触れた自分の可能性も広げてもらったように思います。

人の力のすごさと素晴らしいを感じた3日間でした。

復興の桑応援サポーター

桑を育てている方々、それをパウダー化し健康飲料として販売している方々は、災害から立ち上がり、地域をもう一度元気にしようと頑張っています。サポーターとして仙台の復興を応援して下さい。

1,000円の寄付で桑の苗木を1本植栽できます。3,000円(苗木3本)から承っております。特典 年に一回、桑パウダー(シャンドウミュリエ)1袋をプレゼントします。

申込み方法 電話、FAX、メールのいずれかにて、名前・住所・電話番号をお知らせ下さい。その後、下記の口座にお振り込み下さい。住所は桑パウダーをお送りする際に必要となります。

連絡先 TEL : 03-3512-0355 / FAX : 03-3512-0358 / Email : info@habitat.or.jp

振込先 三井住友銀行麹町支店 普通口座 9121975 特定非営利活動法人日本ハビタット協会 / 郵便振替 00140-7-540813 日本ハビタット協会 記念事業

桑の木に祈りをこめて

桑の植栽ツアーには多くの方々にご参加いただきありがとうございました。

私は6月2日の東京農業大学のグループとの植栽に参加しました。広い畑は手入れが行き届き、土がふかふかで足がめり込んでしまいそうなほどでした。日ごろ菊地さんを始めとする皆様がしっかりと土づくりをして、畑を大切にしていることが良く分かります。

桑の植栽は、長島教授を中心に企業の方々と学生さんが協力し、苗木を切る人、発根促進剤をつける人、植える人、それぞれが手際よく動き、苗が無事に育つ事を祈りながら3日間で合計7,000本の苗を無事に植えることができました。ここまで来られたのは長島先生のご指導とこれまで取り組んでこられた仙台の皆様のおかげです。

苗の植栽が終わった後全員で荒浜海岸に行き、津波により犠牲になった多くの方々へ鎮魂の祈りをささげました。荒浜地区には今も高いがれきの山があり、ねじ曲がったガードレールや、基礎だけが残った住宅跡地はそのままです。

未曾有の災害ではありましたが、大震災から2年を経ても復興が進んでいないことにもどかしい思いが募ります。そんな環境の中、今回の「桑プロジェクト」に携わっている方々は「何とかして、元のように農業で生計を立てて行きたい」と前向きに進んでいらっしゃいます。

桑の植栽から3週間後の6月24日、生育に差があるものの10～15%新芽が出てきたと仙台から写真が送られてきました。希望にあふれた報告です。私自身も、しっかりと応援して事業を成功させたいとの思いを強くしました。



緑いっぱいプロジェクト in ラオス

2012年4月よりラオスのルアンパバーン県で植林活動を通して人々の暮らしと自然を守る事業を実施しています。

2012年度は村人と協力して、パクウー地区において21.5haの植林を行いました。植林した苗木は順調に成長し、中でもアブラギリ(Tung Oil Tree)の成長は非常に早く、昨年6月に植林したものがすでに3mに成長しています。このまま成長していくれば、土地の保水機能が高まり雨季に十分な水が土地に蓄えられ、乾季においても植物が育つ環境が整えられていくと期待されるだけでなく、人々の暮らしに必要な水の確保にもつながっていきます。

森林回復だけでなく人々の暮らしにも役立つマンゴーやオレンジ、ランプータンなどの果樹の苗木も植林しましたが、平均して160cmほどに成長し、マンゴーは2mまで育っています。実った果実は人々の暮らしに役立てると共に、果実を売った現金の一部で新しい苗木を購入しさらなる植林活動を進めています。

2013年2月からパクウー中学校とパクチェック小学校では、アブラギリの苗木が種から育てられています。すでに成長した苗木350本がそのまま学校で育てられたり、山に植林されたりしました。この活動は周囲の学校にも広がり、パクチェック小学校から5km離れたファイ中学校にもパクウー中学校で育てられた苗木が植林される予定です。

2013年度はパクウー地区だけでなく、ルアンパバーン地区とシエングエン地区においても植林活動を実施しています。両地区はルアンパバーン市内や近隣の村々に水を供給している源泉があり、植林による森林機能回復がとても重要な課題となっています。35ha15,000本の植林を実施する予定で、2013年6月末までに28haに11,200本の植林を実施し、延べ280人の村人が参加しました。雑草刈り、倒木や雑木の除去など植林をするための土地の整備には2~3ヶ月間かかりました。源泉があることから保水効果が高く成長の早い Bischofia Javanica(日本名:アカギ)と Afzelia Xylocarpa(中国名:メンガ)が植えられ、現在村人達が責任を持って管理をしています。今後も自治体、学校、住民と協力しながら、地域が主体となった持続可能な植林活動を通して人々の暮らしと自然の双方が守られた社会を推進していきます。



学校では種から苗木が育てられています



たくさんの村人が参加

ラオスの植林による環境保全事業にご協力をお願いします

- みずほ銀行 麴町支店 普通口座 2108468 日本ハビタット協会
- 郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙にラオスと記入ください。
- クレジット・カード (VISA、Master Card) でもご寄付いただけます。
日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。▶▶▶ www.habitat.or.jp



ブータンに救急車を寄贈

日本ハビタット協会は、名古屋競馬株式会社及び藤田保健衛生大学病院と協力してブータンに救急車1両を寄贈しました。ブータンはGNH(国民総幸福)を尊重する国です。救急車は幸福の最も重要な要素の一つである健康を守ります。

5月19日に名古屋港から救急車を載せた船が出航しました。シンガポールで別の船に載せ換えられて、6月24日にインドのカルコタ(旧名カルカッタ)港に到着しました。税関などの手続きの後ブータン政府に引き渡されました。カルコタからブータンまではブータン政府の責任で陸送されます。

この救急車がブータンで多くの人々の健康と命を守るために役立つことを期待すると共に、その様子を今後のまちづくり通信などでみなさまに伝えられることを楽しみにしております。



昨年6月に植えたアブラギリ

子ども達ニコニコ!プロジェクト ~石巻市立雄勝小学校支援~

石巻市立雄勝小学校は東日本大震災で津波が校舎の屋上まで達する深刻な被害を受けました。襲ってくる津波を避けて校長先生をはじめ教職員全員で、けもの道のような山道を30分も登って子ども達を避難させた結果、生徒105名全員無事でした。しかし、多くの子ども達の家は流され、別の町に移転した家族が多く、雄勝小学校の子ども達は昨年の夏には40人に、最近では36人になりました。校舎が使えなくなったので、石巻市立河北中学校に4教室を間借りして学校生活を送っていました。日本ハビタット協会は、この子ども達が元気に、幸せに学校生活が送れるよう2011年以来支援を続けてきました。

2013年4月の新学期から、石巻市立船越小学校と統合され、県立石巻北高等学校飯野川校の敷地内にできた新校舎で新たな学校生活がスタートしました。しかし、実際に新校舎で授業が始まつたところ、新校舎がリサイクルのプレハブでできていたため、子ども達の学校生活にさまざまな問題が起きました。2階の床が薄く机やいすを少し動かしただけでも騒音が下の階に伝わる、体育などのための着替えに必要な更衣室がない、集会スペースに幕がないので入学式や学芸会などに使えない、などです。

日本ハビタット協会は子ども達の支援のために募金を行い、6月までに騒音防止のカーペットや式などのための幕の設置、更衣室の整備、ランチルーム用の椅子と机の調達、靴などを履きかえるスペースとカーペットの整備などの支援を行いました。

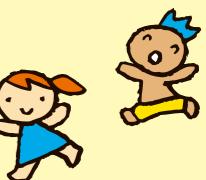


みんなで給食を食べられるようになりました

寄付のお願い

子ども達ニコニコ!プロジェクトや獅子舞で笑顔をつなごう!プロジェクトなど被災された方々が元気に日々を過ごしていくよう今後とも東日本大震災復興支援事業を続けていきますので、みなさまのあたたかいご支援ご協力をお願いします。

- 三菱東京 UFJ銀行 麴町中央支店 普通口座 1519563 日本ハビタット協会
- 郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に東日本大震災と記入ください。
- クレジット・カード (VISA、Master Card) でもご寄付いただけます。
日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。▶▶▶ www.habitat.or.jp



書き損じハガキ・切手を支援活動に役立てませんか

ハガキ、切手がたくさんの人達の笑顔につながります。不要なハガキや切手(未使用)をお持ちでしたら日本ハビタット協会までお寄せ下さい。外貨コイン・紙幣も承っています。全ての国のコイン・紙幣をお受けいたします。



ご協力に感謝申し上げます

シアトルマリナーズの岩隈投手と、中日ドラゴンズの吉見投手から「子どもの夢プロジェクト」にご寄付をいただきました。「子どもの夢プロジェクト」は被災地である東北地方の子どもたちが将来の夢に向かって希望の道を歩いていくように、様々な支援事業を実施しています。

また、岩隈投手からはこの度上梓された「感情をコントロールする技術」(ワニブックス刊)の印税を子ども達の支援事業にご寄付くださるというお話をもらっています。ご協力に心から感謝申し上げます。

中学生がコイン仕分けボランティアに参加

東京へ修学旅行中の中学生が、ボランティア体験として外貨コイン仕分けに協力して下さいました。5月10日仙台市立上杉山中学校の生徒24人、17日多賀城市立東豊中学校の生徒4人が、世界の状況や、スラムの現状、その中で暮らす子ども達のことなどを学び、その後コイン仕分けを体験しました。全員がとても熱心に取り組み、たくさんのコインが仕分けされました。



ボランティアデーにたくさんの方が参加されています

毎月第1・3火曜日の午後1時から4時まで、日本ハビタット協会の事務所のあるふくおか会館会議室で外貨コイン仕分けのボランティアを行っています。昨年の秋頃から、参加者が毎回10名くらいになり、仕分け作業が早く進んでいます。個人で参加される方だけでなく、企業も積極的に参加して下さっています。定期的にボランティアを派遣してくださる(株)ジー・シー・ビーとシリックス・システムズ・ジャパン(株)に御礼申し上げます。